

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	751	中学校クラブ遠征参加経費	会計	01	一般会計	
基本 施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費	
			項	03	中学校費	
			目	02	教育振興費	
行革大綱の重点事項番号			細目	637	教育振興経費	
担当部課			細々目	51	中学校クラブ遠征参加経費	
コード		450100	担当者	澤 昌道	連絡先	22 - 9675 (内線) 3813
名称		教育委員会 教育総務課	氏名			

**事務事業の概要(Plan)**

対象(誰を、何を)	市内全中学校の部活動に入学している生徒	※対象件数 12中学校
成果(どうする)	運動部の大会や文化部のコンクール等への参加旅費を負担することで、保護者の負担の軽減及びクラブ活動の推進を図る。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	*各中学校の部活動において、中体連主催の体育関係の大会や県主催の吹奏楽コンクール等への遠征参加費用の助成を行った。 *体育大会参加校:11校 4,569,880円補助 *文化行事参加校:8校 1,355,000円補助	
社会情勢 の変化等	平成16年度より助成対象を中体連主催の体育大会及び県主催のコンクールのみにした。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
県大会参加延べ校数		校	目標	33	目標	35
			実績	33	実績	33
			目標		目標	
			実績		実績	

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
体育大会出場校数		延べ参加校数/延べ県大会数	%	目標	90	目標	70
				実績	91	実績	90
文化関係行事出場校数		延べ参加校数/延べ県大会数	%	目標	60	目標	70
				実績	55	実績	50

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	5,626		5,520		5,520		5,520	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0		0		0		0
一般財源	5,626		5,520		5,520		5,520	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	6,346		6,240		6,240		6,240	

**事務事業の評価(Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	*大会参加費等を助成することにより、保護者の負担が軽減できる。助成の対象となる大会等や人数を制限しているため、生徒の活動を十分に保障しているとは言いきれない。
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○ *中体連・県主催のコンクールのみ登録選手に限り、交通費の実費補助をしている。練習試合などは保護者負担で行っており、経費低減の余地は少ない

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	*現状では、助成の対象となる大会や人数に制限があり、生徒のクラブ活動を十分に保障しているとは言いきれないため、大会地までの最も効率的な交通手段による経費削減により、少しでも多くの大会へ参加できるよう学校側と検討を進めていく。
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 *体育大会参加校:11校 4,569,880円補助 *文化行事参加校:8校 1,355,000円補助

**今後の方向性(Action)**

担当課長氏名	伊室春利
【方向性】	<b>現状維持</b>
【理由】	*中学校での部活動の成果を発揮する場合は必要であり、それへの参加に伴う経費の軽減を図ることは参加意欲の向上となり、継続的に事業の推進は必要である。
現時点における課題、その他	*現状では、助成の対象となる大会や人数に制限があり、生徒のクラブ活動を十分に保障しているとは言いきれない。他市では、遠征に係る交通費を100%市が補助しているところもある。 *宿泊費についても、当市では日額5,000円(二日目以降は半額)としているが、市職員の旅費と同様の取扱をしているところもある。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	*大会地までの最も効率的な交通手段による経費削減により、少しでも多くの大会へ参加できるよう次年度に向けて学校側と検討を進めていく。